※令和３年度以前入学生用

１０　家庭

学校番号	T2101

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎※	単位数	2	年次	1
使用教科書	家庭基礎　明日の生活を築く　（開隆堂）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に必要な基礎的な知識や技術について学習します。
〇人の一生で起こる様々な問題や課題を見通し、多様な考えを知り、自分なりに、自分のペースで考えを探すことのできるような学習をします。
〇学んだこと、考えたことを自分の生活に反映させ、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち､その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし､その解決をめざして思考を深め､適切に判断し､工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉､衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期は実施しない								
10月前半	自分らしい人生をつくる	○家庭科で学ぶこと ○人の一生を見通す ・生涯発達の視点 ・ライフステージ ・おとな、こどもとは何か ・アイデンティティ ＊おとなとこどもの違い	○	○	○	○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
10月後半	さまざまな住まいと暮らし	○どんな住まいに住む？ ・物件情報と間取り ・動線と家具の置き方 ・ライフステージと住まい ・地域による住まいの違い ・快適な住まい方 ・住まい選びのために ・引越しに必要なものと知識 ＊間取りにあった家具配置を考えよう ＊自分の住まい選びのポイントは？ ＊物件の条件でダイヤモンドランキング	○	○	○	○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

11 月	食生活をつくる	○食生活について ・食事の役割 ＊味のワークショップ ○食をえらぶ ・食品の表示の見方 ・食に関する疑問を探す ・食品と選択 ・消費者としての情報リテラシー能力 ・消費を通した社会参加 ○食事と栄養・食品 ・何をどれだけ食べたらいいのか？ ・栄養素 ・消化吸収 ・食品の分類とバランス ・さまざまな食品 ・手ばかりと目分量体験 ○食と環境問題 ・なぜ１年中同じ野菜が食べられるのか ・フードマイレージと旬 ・地産地消 ・食品とゴミ問題 ・昔の生活からエコを学ぶ ・ゴミのゆくえと減らし方 ・グリーンコンシューマー	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	a：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を身に付けている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
12 月	ライフスタイルと環境	○昔の暮らしから学ぶエコ ○持続可能な社会への課題 ・現在の生活を見直す ・5R ・いろいろなリサイクル ・グリーンコンシューマー	○ ○	○ ○		 ○	a：環境に配慮したライフスタイルに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：環境に配慮したライフスタイルについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：自分の生活を見直すことを通して、環境に配慮したライフスタイルを検討する技術を、身に付けている。 d：持続可能な社会の課題について科学的に理解し、環境に配慮された生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

12 月	経済生活を営む・生活を設計する	○生活に必要な費用と管理 ・給与明細の見方 ・収入と支出 ・税 ・リスクに備える（保険） ○契約の重要性 ・クレジットの三者間取引 ・クレジット料金シュミレーション ・カード支払い方法の違いによるメリットデメリット ○消費者の仕組み ・さまざまな消費者問題 ・自分の消費生活を振り返る ・悪質商法ケーススタディ ・クーリングオフと相談機関	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d：現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
1 月	衣生活をつくる	○被服の機能と管理 ・被服の機能 ＊服を着る様々な理由 ・洗濯の表示 ・洗剤の働き（界面活性剤） ・処分経路 ○被服の計画と着装 ＊自分に似合う色。あなたが似合う色。 ・布の成り立ち ＊織物の構成 ・布の原料 ・被服のコーディネイト ＊カラーコーディネイト	○	○ ○	○	○ ○	a：被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d：被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

1月・2月	子どもとかかわる	○子どものこころに寄り添う ＊子どもの問題行動にどう声をかける？ ・子どもの心の発達 ○子どもにとっての遊び ・遊びの意義と発達 ＊スマートフォンと子ども	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
2月	自分らしい暮らし・多様な暮らし	○家庭・家族とは ・いろいろな生き方暮らし方 ・家族に関する法律 ・多様なライフスタイル ○自分らしい暮らし ・ジェンダー ・一人ひとり違う多様な性 ○共生社会と福祉 ・社会保障 ・共生とノーマライゼーション	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:自分らしい生活や多様なライフスタイルを考えることについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:自分らしい生活や多様なライフスタイルを考え、表現している。 c:多様なライフスタイルを知ることを通して、自分らしいライフスタイルを検討する技術を、身に付けている。 d:多様なライフスタイルがあることを知り、自分らしい暮らしを実現するための社会資源や考え方について知識を身につける。	授業観察 ワークシート 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。